

2017年3月期第2四半期 決算説明会

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

2016年11月15日

昭和産業株式会社

本日のスケジュール

- 1. 2017年3月期第2四半期決算説明 13:30～**
代表取締役社長 新妻一彦
- 2. 穀物原料事情概況 14:00～**
原料部長 荒川謹亮
- 3. 質疑応答 14:10～**

2017年3月期第2四半期 決算説明

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

代表取締役社長

新妻 一彦

目 次

- I. 2017年3月期第2四半期業績概要について**
- II. 2017年3月期業績予想について**
- III. 中期経営計画の進捗について**
- IV. 今後の取り組みについて**

I . 2017年3月期第2四半期 業績の概要について

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

2017年3月期第2四半期業績

(百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増 減	前期比
売上高	117,800	123,646	▲5,845	95.3%
営業利益	5,244	4,121	1,123	127.3%
経常利益	5,777	4,584	1,193	126.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,604	3,352	252	107.5%

2017年3月期第2四半期セグメント別業績

(百万円)

	売上高				営業利益			
	2017年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減	前期比	2017年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減	前期比
製粉事業	33,287	33,458	▲170	▲0.5%	1,779	1,475	304	20.6%
油脂事業	27,292	29,359	▲2,067	▲7.0%	1,242	593	648	109.1%
糖質事業	17,122	18,518	▲1,395	▲7.5%	1,726	1,622	104	6.4%
家庭用食品 事業	10,599	10,229	369	3.6%	80	▲127	208	-
飼料事業	26,942	29,587	▲2,644	▲8.9%	303	282	20	7.2%
倉庫事業	1,400	1,343	56	4.2%	364	323	41	12.7%
不動産事業	1,005	992	12	1.2%	557	576	▲19	▲3.3%
その他	150	156	▲6	▲4.2%	35	20	14	69.9%
全社費用等					▲845	▲646	▲198	-
合計	117,800	123,646	▲5,845	▲4.7%	5,244	4,121	1,123	27.3%

2017年3月期第2四半期セグメント別業績

売上高、営業利益 (百万円、%)



家庭用食品事業



倉庫事業

不動産事業

外円:売上高
内円:営業利益

※セグメント利益の調整額
▲845(百万円)は含まず

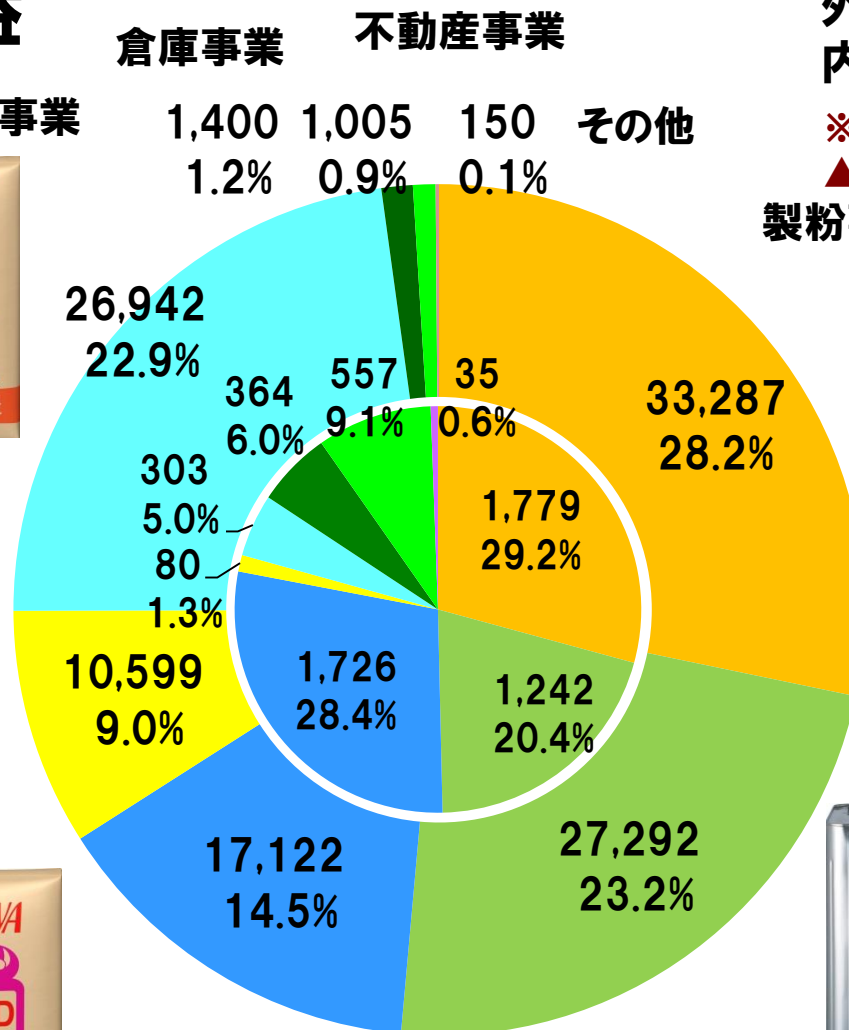
製粉事業



油脂事業

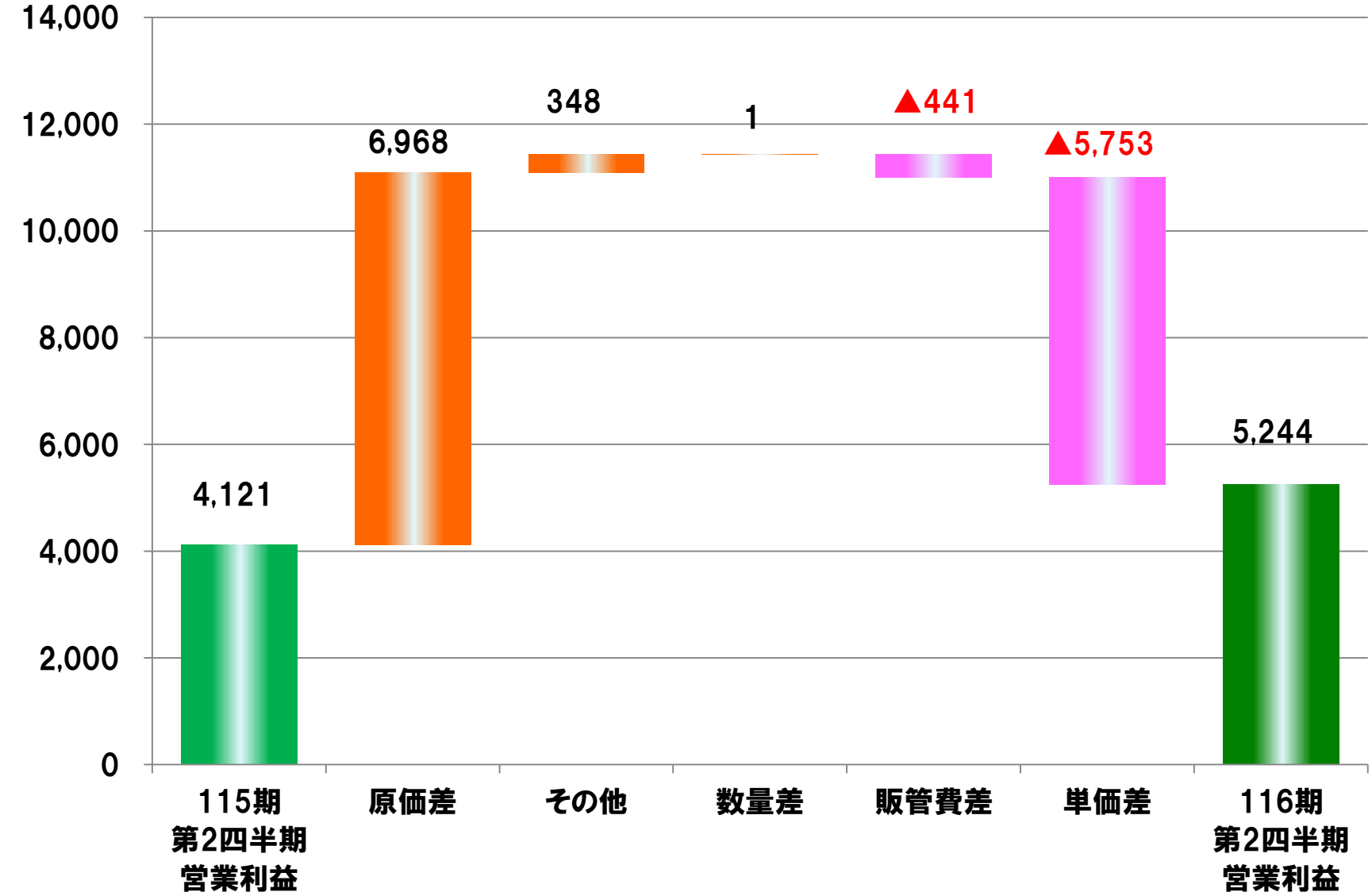


糖質事業



営業利益の増減要因

(百万円)



セグメント別概要(製粉事業)

1. 今期の施策

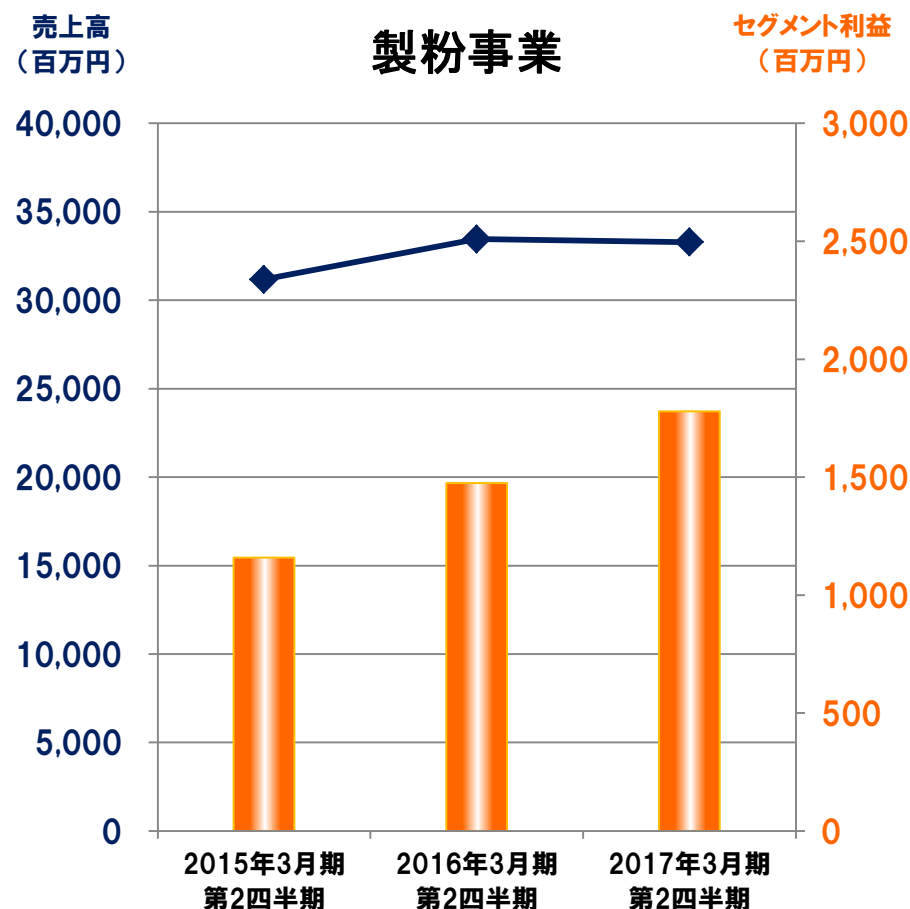
マーケット分析力を生かした提案型営業のさらなる強化

2. 第2四半期のプラス要因

- ・パン用小麦粉及び加糖ミックスの拡販により、販売数量は前年を上回る
- ・ふすまの販売数量も前年を上回る

3. 第2四半期のマイナス要因

- ・輸入小麦の政府売渡価格引き下げによる販売価格の改定を実施



セグメント別概要(油脂事業)

1. 今期の施策

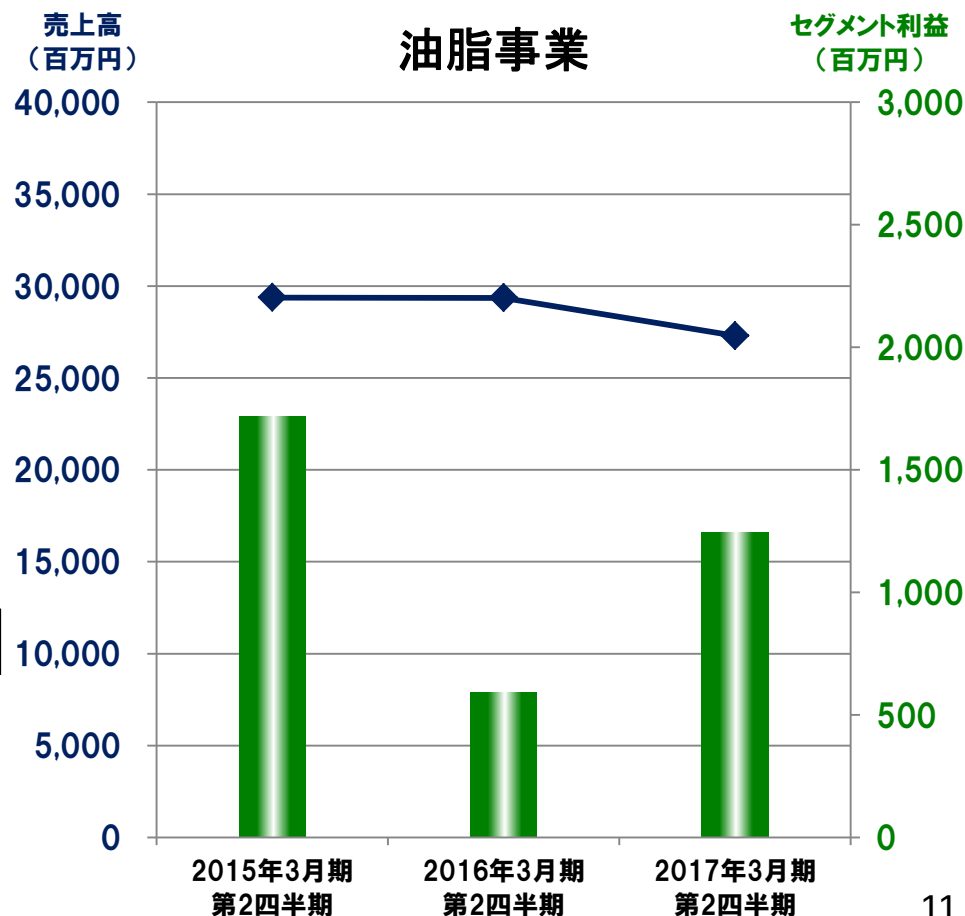
油脂製品と食材製品併売によるシナジー効果を生かし
問題解決型の営業活動を強化

2. 第2四半期のプラス要因

- ・業務用食用油及び業務用プレミックスの販売数量は前年を上回る
- ・業務用食材の販売価格は価格改定により前年を上回る

3. 第2四半期のマイナス要因

- ・食用油の市場価格の下落に伴い、販売価格が前年を下回る。



セグメント別概要(糖質事業)

1. 今期の施策

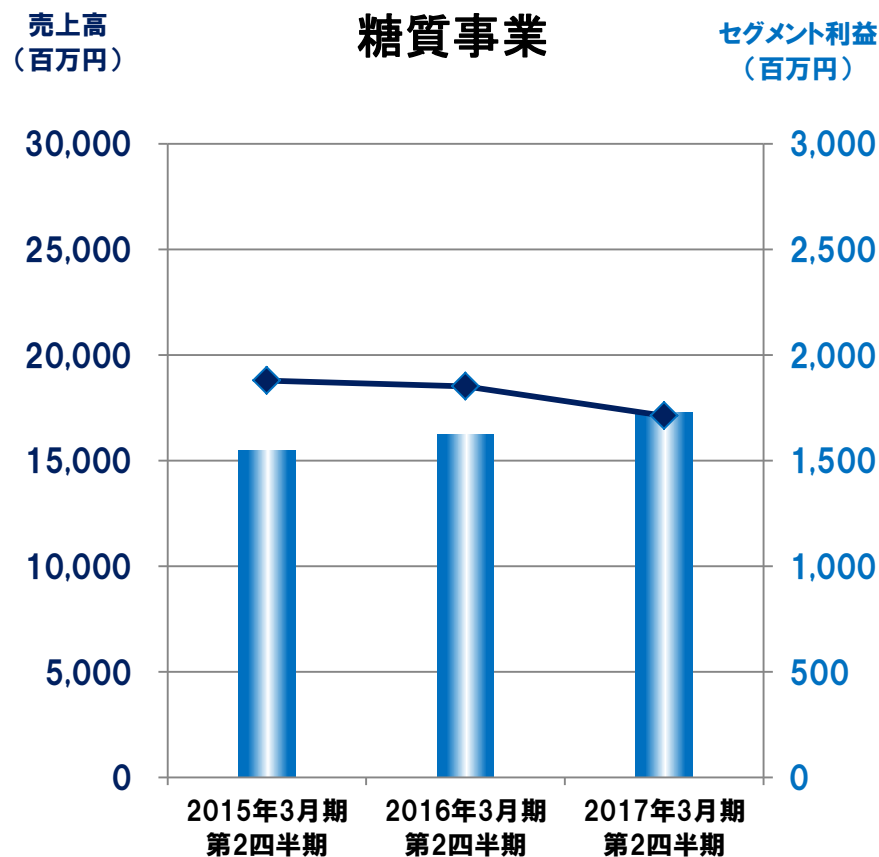
弊社子会社である敷島スターチ(株)との販売統合効果を
生かした拡販の継続

2. 第2四半期のプラス要因

- ・シナジーを生かした提案型営業
によりでん粉類の販売数量は
前年を上回る

3. 第2四半期のマイナス要因

- ・大手顧客への売り上げ不振に
より糖化製品の販売数量は
前年を下回る
- ・原料穀物相場の影響により
販売価格が前年を下回る



セグメント別概要(家庭用食品事業)

1. 今期の施策

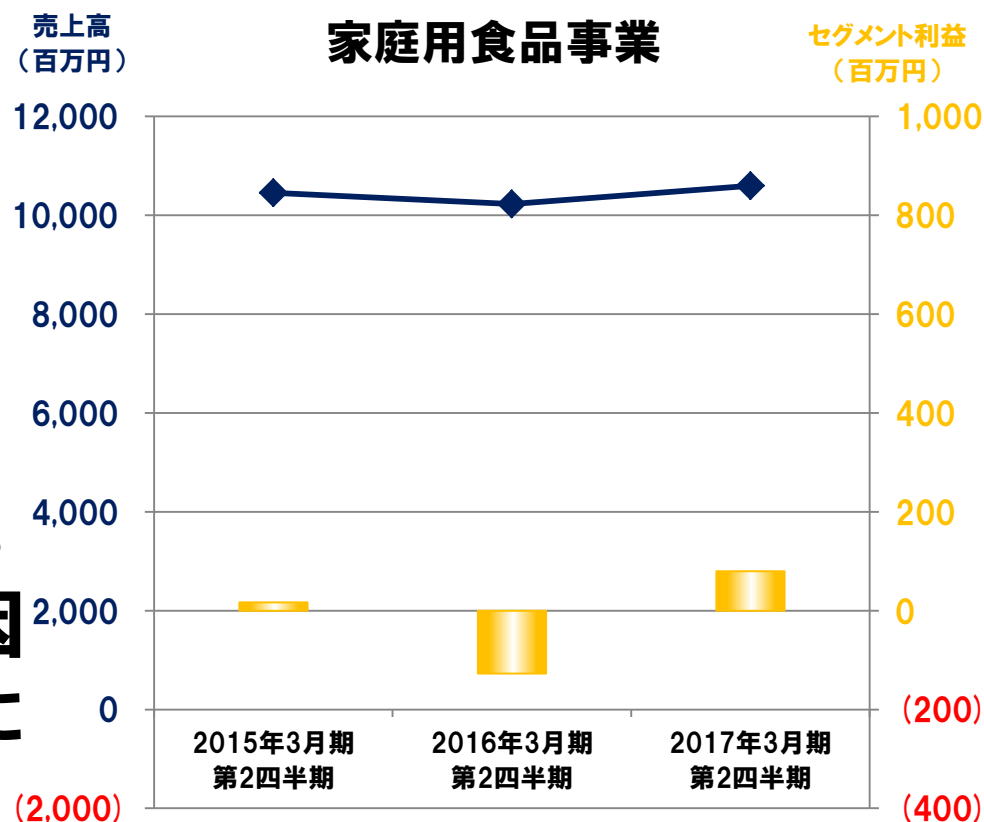
他事業と連携した組織営業の推進

2. 第2四半期のプラス要因

- ・キャノーラ油の伸長により、食用油の販売数量は前年を上回る
- ・プレミックス類は天ぷら粉の販売数量前年を上回る
- ・プレミックス類の販売価格は価格改定により前年を上回る

3. 第2四半期のマイナス要因

- ・食用油は、市場価格の下落により、販売価格が前年を下回る。



セグメント別概要(飼料事業)

1. 今期の施策

鶏卵の販売支援の取組を強化し、養鶏用飼料の拡販

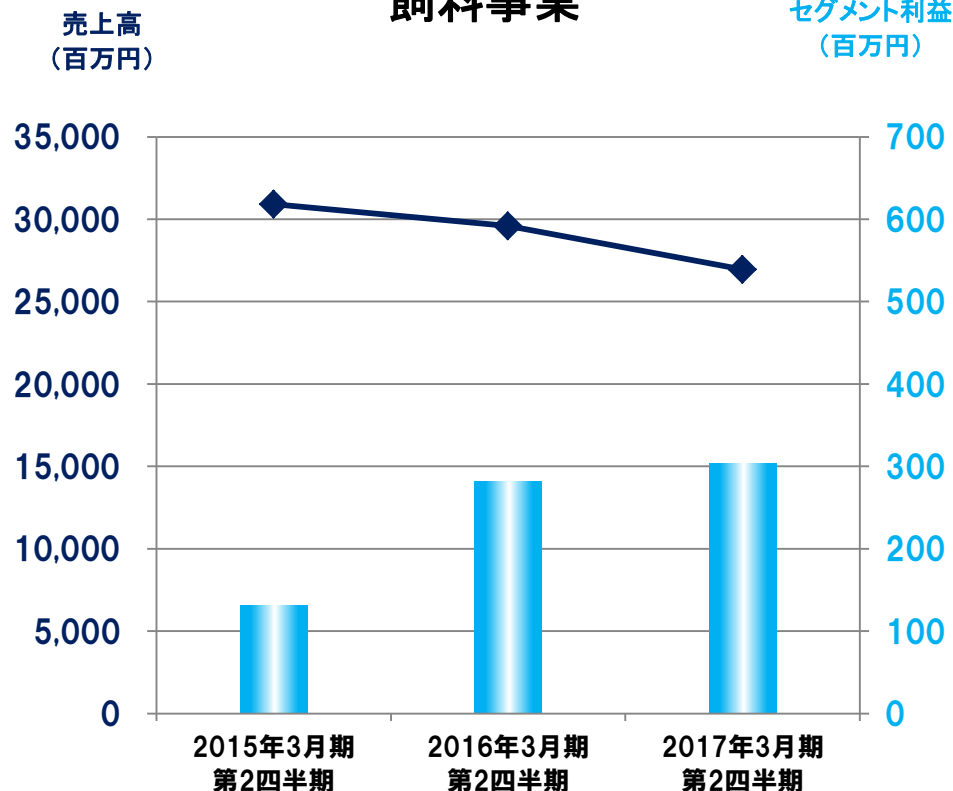
2. 第2四半期のプラス要因

- ・養鶏用を中心に配合飼料の販売数量は前年を上回る
- ・鶏卵の販売数量も前年を上回る

3. 第2四半期のマイナス要因

- ・一部受託商品の終了により、配合飼料の販売数量が前年を下回る
- ・原料穀物相場の影響を受け販売価格が前年を下回る

飼料事業



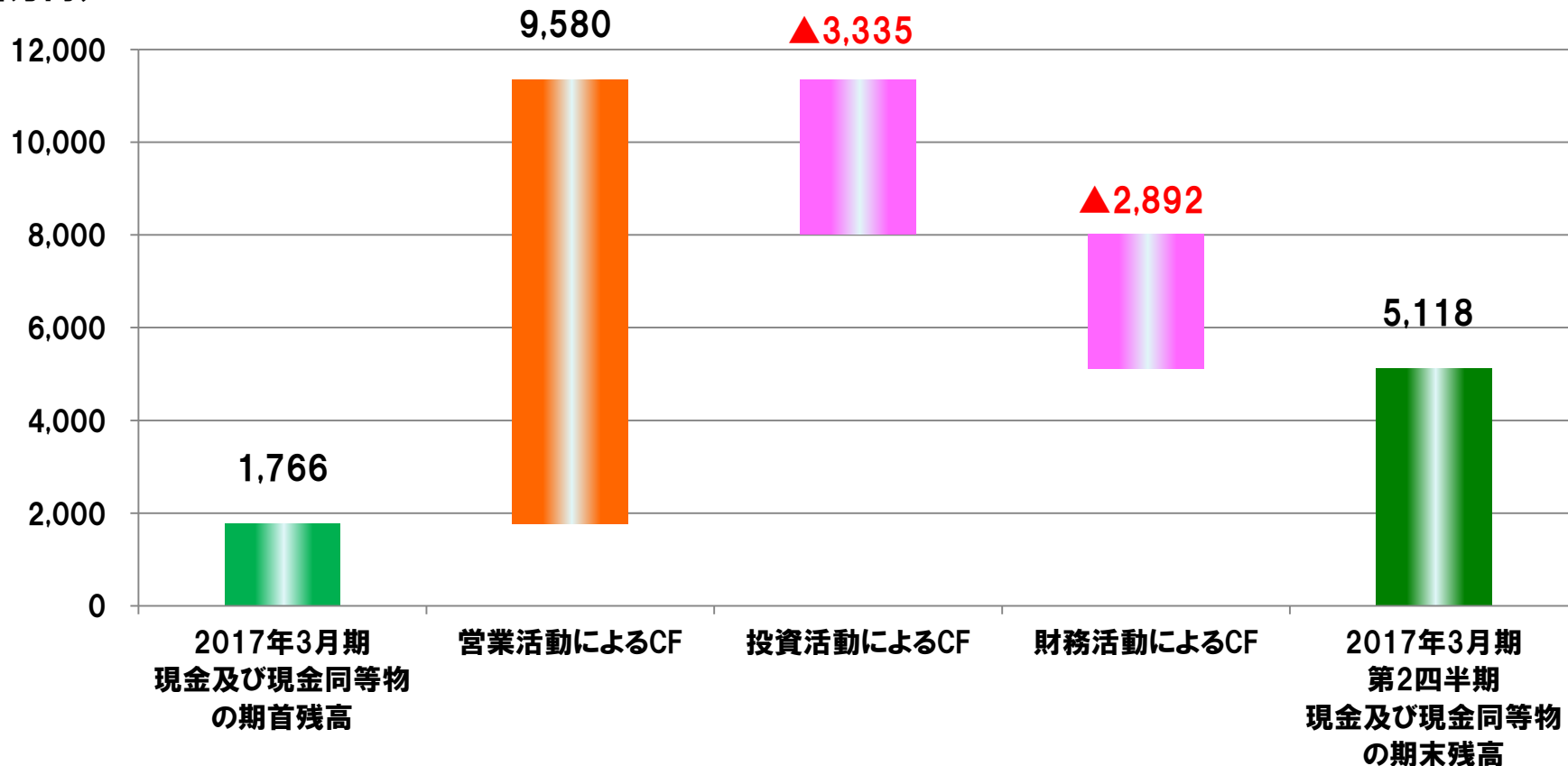
貸借対照表の概要

(百万円)

		平成28年 9月末	平成28年 3月末	増減	前年度末比
資産	流動資産	69,835	69,605	229	0.33%
	固定資産	91,256	88,335	2,920	3.31%
資産合計		161,092	157,941	3,150	1.99%
負債	うち有利子負債残高	32,945	33,165	▲220	▲0.66%
		87,859	86,340	1,519	1.76%
純資産		73,232	71,600	1,631	2.28%
負債・純資産合計		161,092	157,941	3,150	1.99%
1株当たり純資産		443.83	430.83	13.00	3.02%
自己資本比率		43.7%	43.6%		0.1%

キャッシュフローの概要

(百万円)



- ・営業CF: 四半期純利益の増加や減価償却費の増加等により増加
- ・投資CF: 有形固定資産の取得等による支出
- ・財務CF: 有利子負債の返済等による支出
- ・現預金残高: 51億18百万円と前期末に比べて33億51百万円の増加

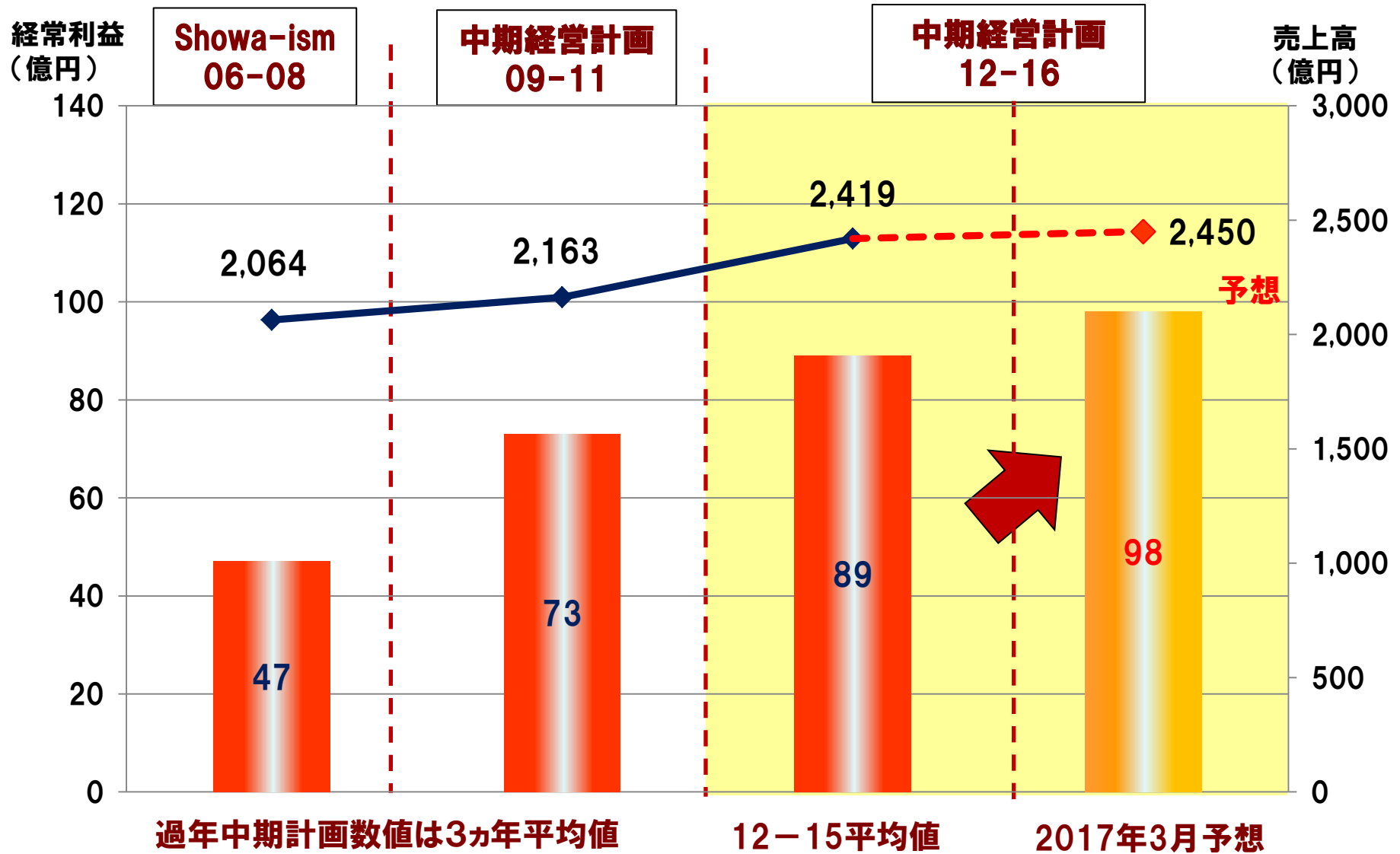
Ⅱ．中期経営計画の 進捗について

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

中期経営計画12-16の推移

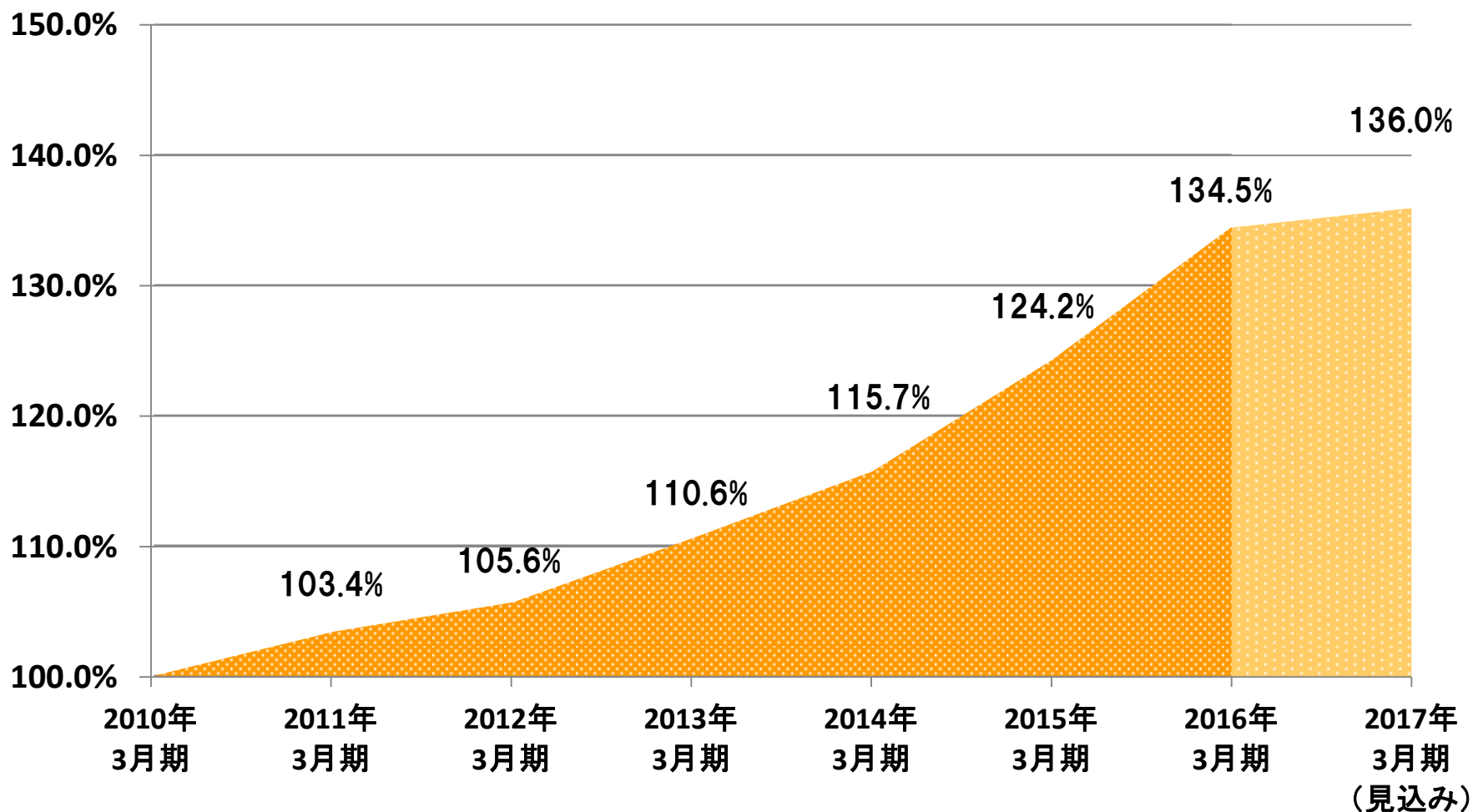


中期経営計画12-16 基本戦略

- ①基盤事業の持続的成長
- ②新たな分野への挑戦
- ③海外事業の強化
- ④効率化の推進
- ⑤グループ連携の強化
- ⑥CSR経営の推進

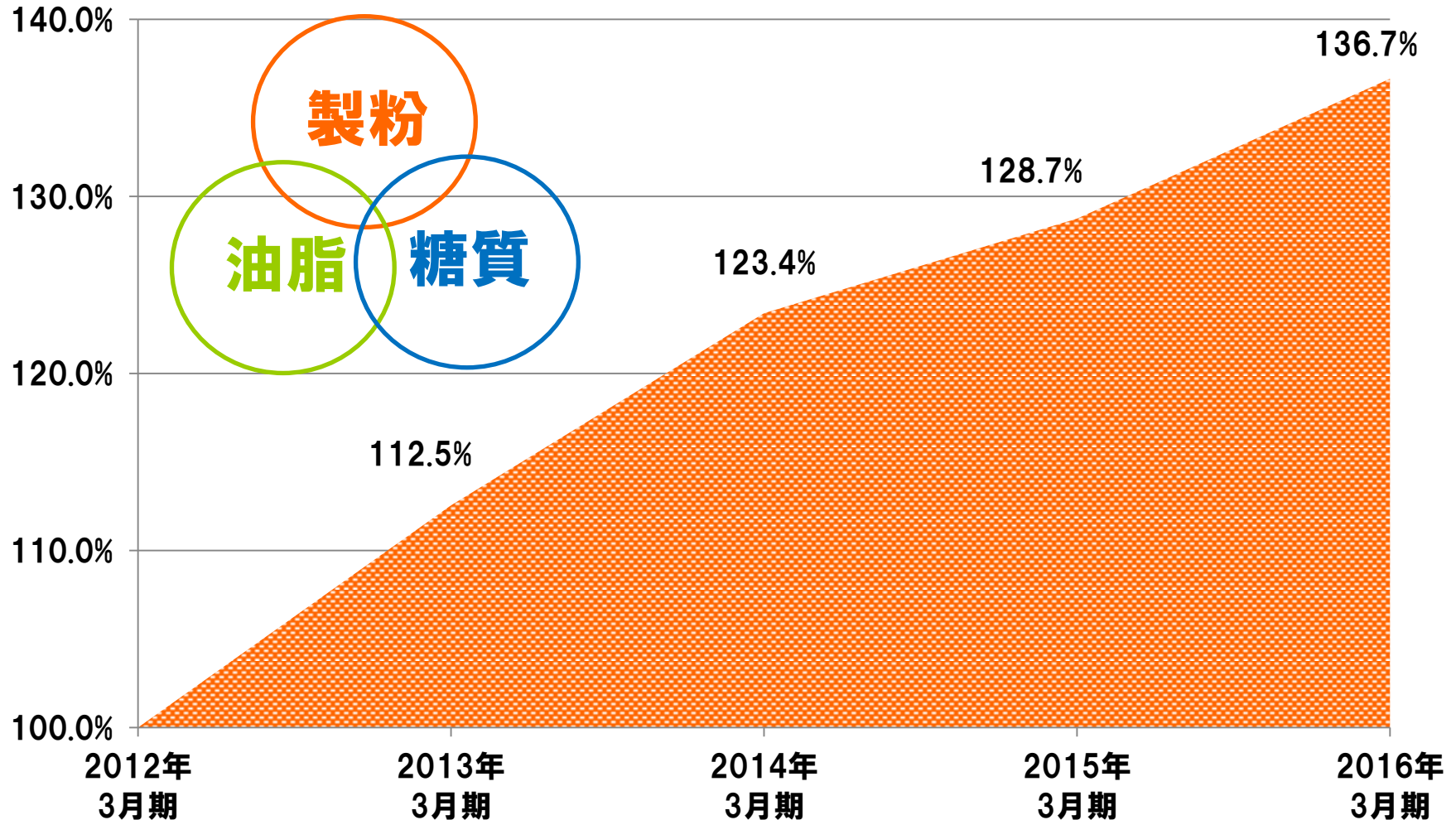
基盤事業の持続的成長

食品関連販売量(単体) 2010年3月期比率推移



シナジーソリューション(CVS)

売上高
(指数%)



基盤事業の持続的成長・グループ連携の強化



基盤事業の持続的成長・グループ連携の強化

製粉事業

油脂事業

糖質事業

グランソールベーカリー株式会社
冷凍パン生地事業

株式会社スウィングベーカリー
焼成パン事業

株式会社セブン-イレブン・ジャパン様各店舗

一貫したサプライチェーン

基盤事業の持続的成長・グループ連携の強化



鹿島工場

グランソールベーカーリー

新たな分野への挑戦・効率化の推進

RD & Eセンター（愛称:SHOW-TECH^{ショーテック}）



新たな分野への挑戦・効率化の推進

RD & Eセンター（愛称: ^{ショーテック}SHOW-TECH）

「研究」・「開発」・「技術」の活動拠点を一か所に集約

- シナジーソリューションの
さらなる強化・スピードアップ
- ユーザーとのコミュニケーションの場を提供

所在地：千葉県船橋市
（弊社船橋工場内）

延床面積： 約4,500m²（4階建て）

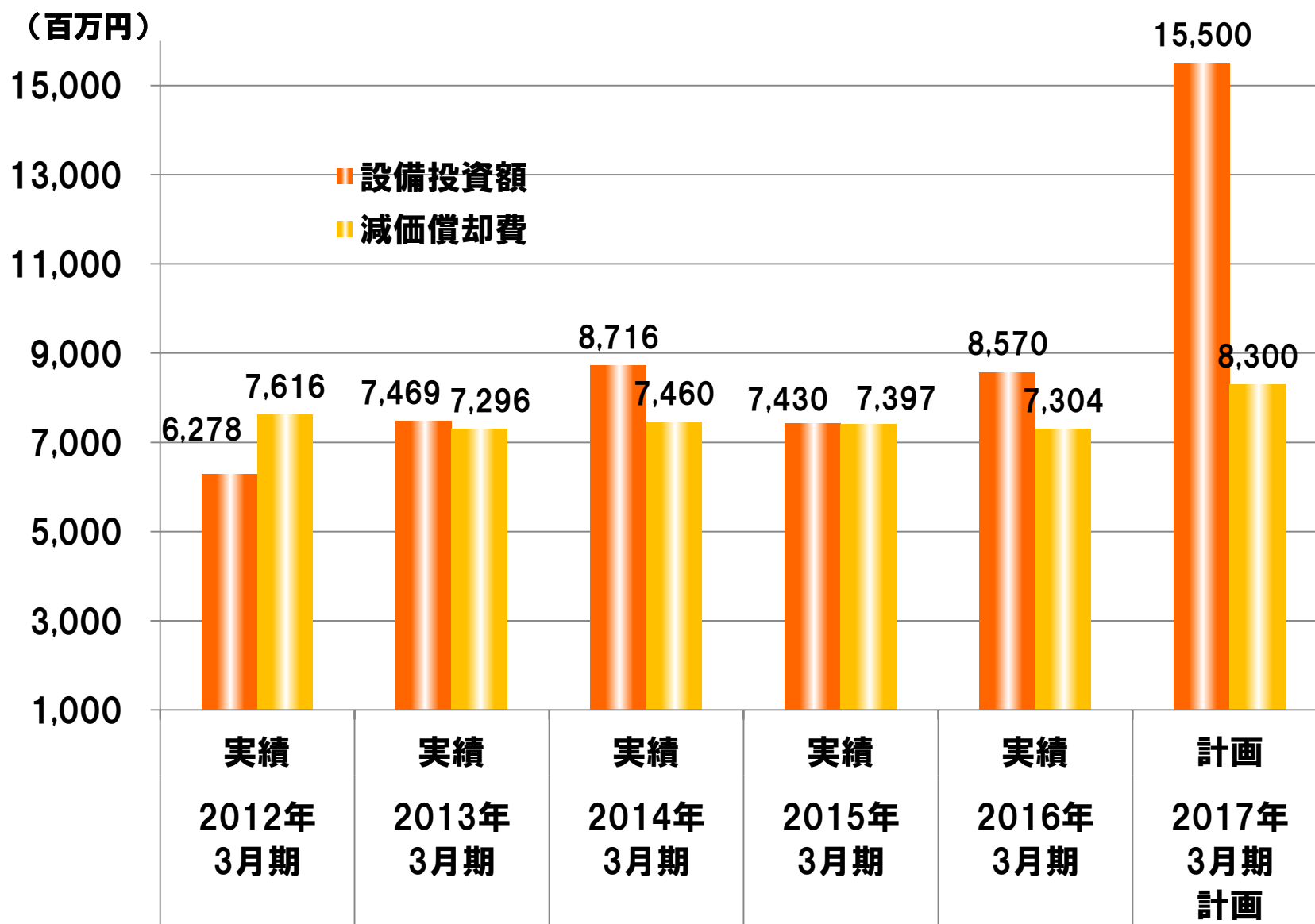
4F 化学実験室

3F 事務所

2F 調理試験室

1F 接客・会議スペース

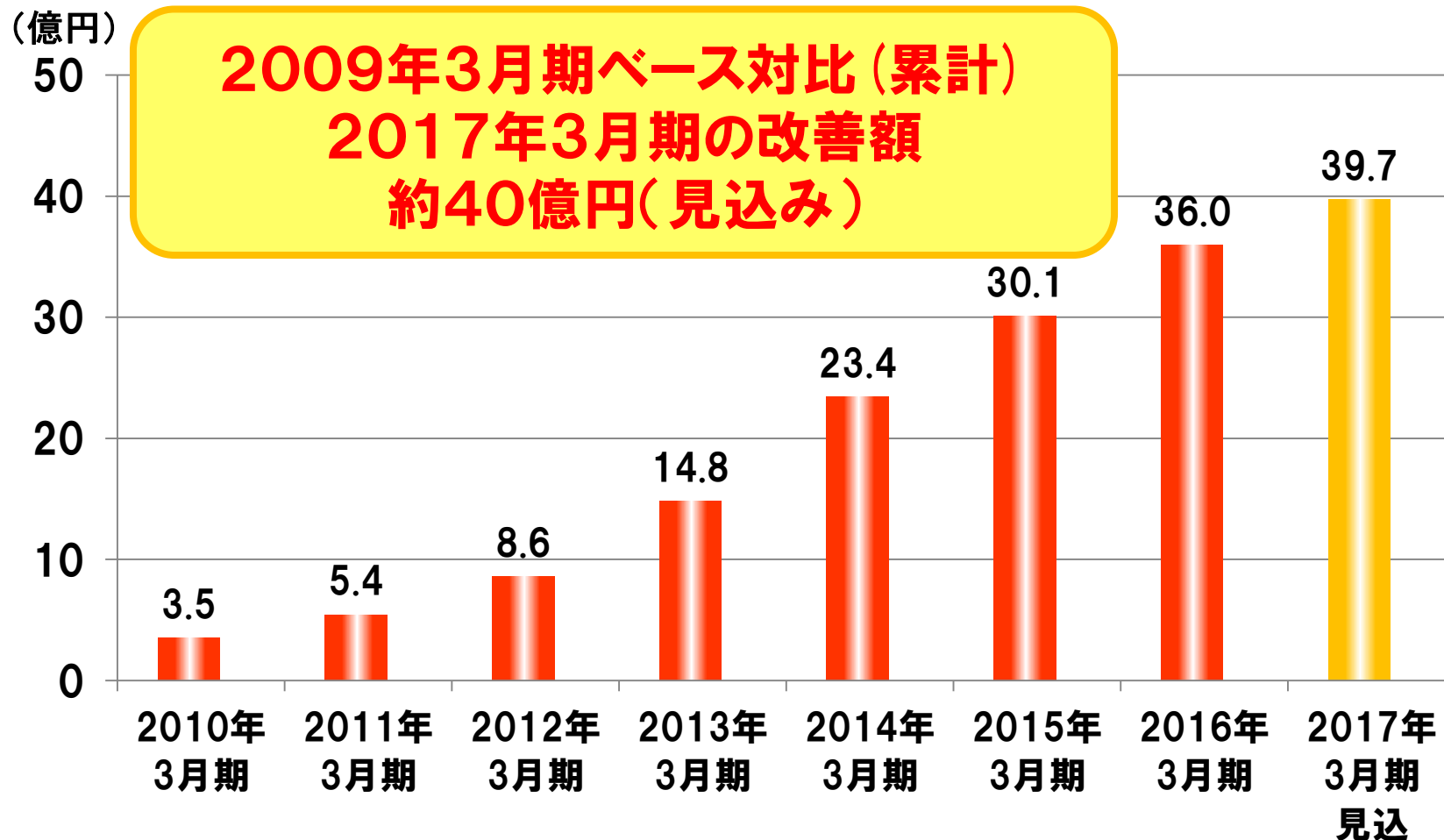
設備投資について



効率化の推進

生産コスト改善(鹿島・船橋・神戸工場)

①歩留向上 ②ロス削減 ③エネルギー効率向上 ④生産効率向上



Ⅲ. 2017年3月期 業績予想について

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

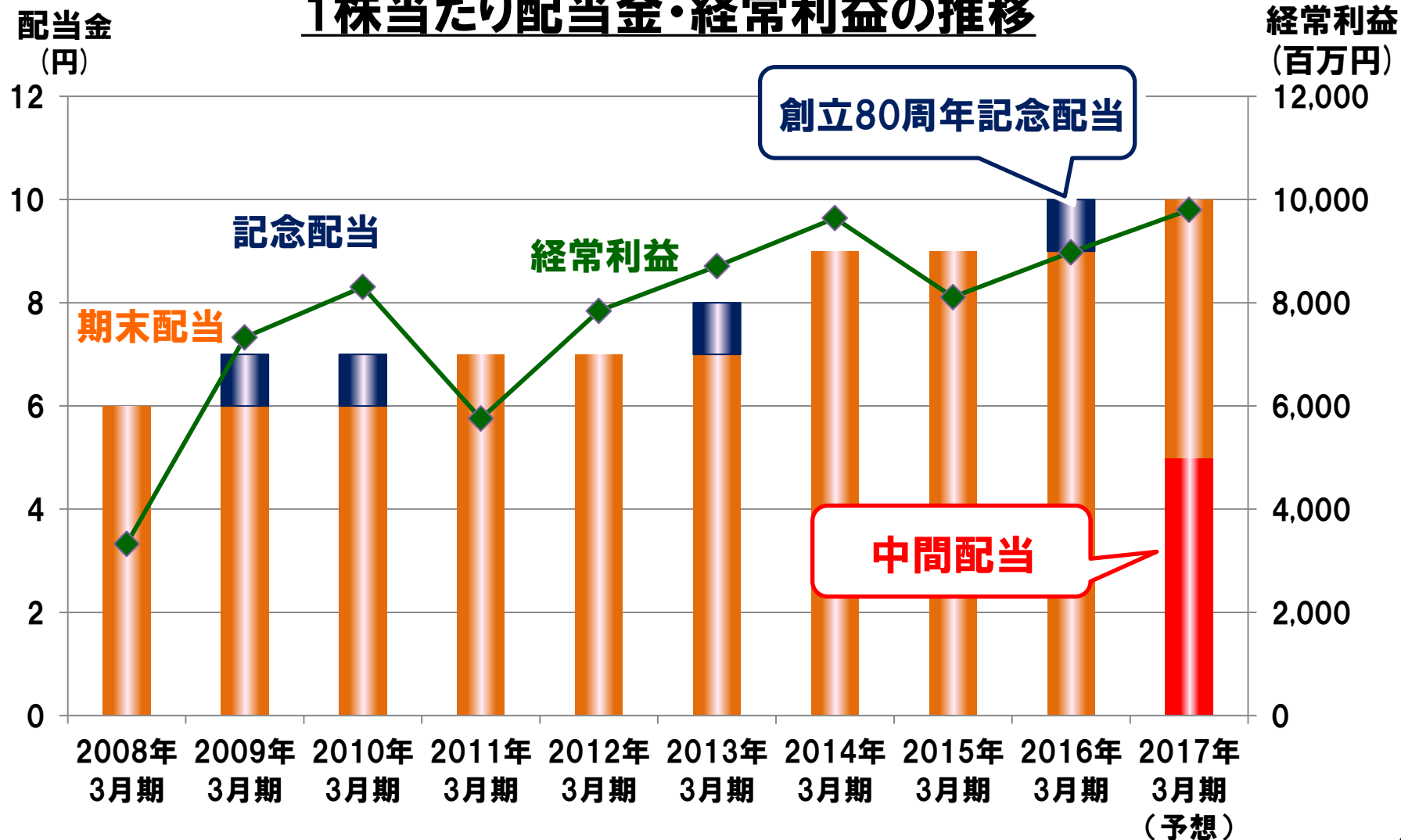
2017年3月期業績予想

(百万円)

	2017年 3月期	2016年 3月期	増 減	前期比
売上高	245,000	247,823	▲ 2,823	98.9%
営業利益	9,200	7,951	1,249	115.7%
経常利益	9,800	8,977	823	109.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,100	5,941	1,159	119.5%

株主様への還元

1株当たり配当金・経常利益の推移



IV. 今後の取り組みについて

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

新たな取り組み ～長期ビジョン～

(成長)

125期のビジョン
(90周年)

長期ビジョン
(ありたい姿)

長期ビジョンをもとに
中計を3回展開
(一次中計は3年間)

マイルストーン

個別戦略に
ブレークダウン

一次中計

ボトムアップ値との
ギャップ把握

現状の延長
線上の姿
(部署目標
の積上げ)

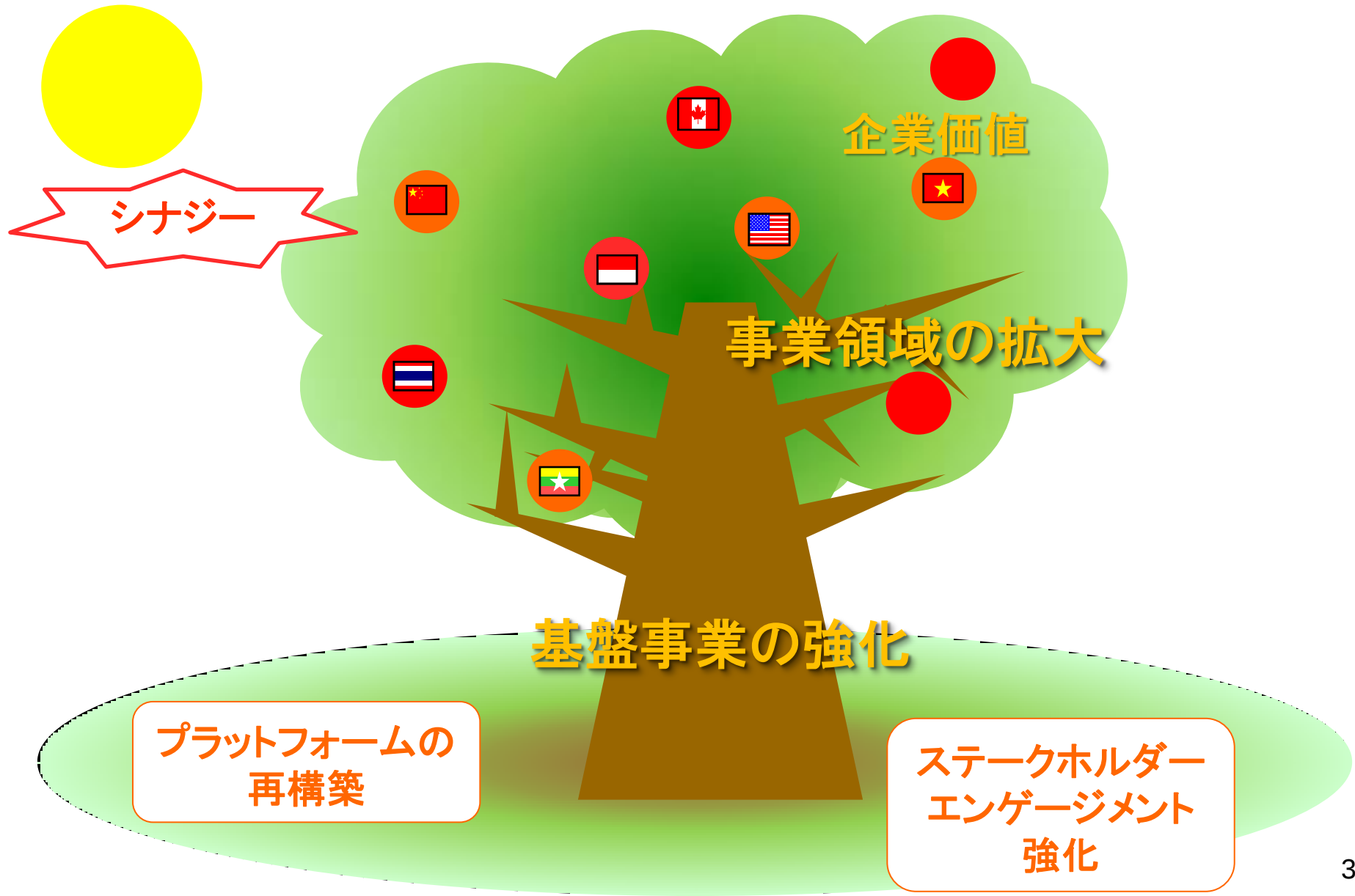
現状

2019年度
(119期)

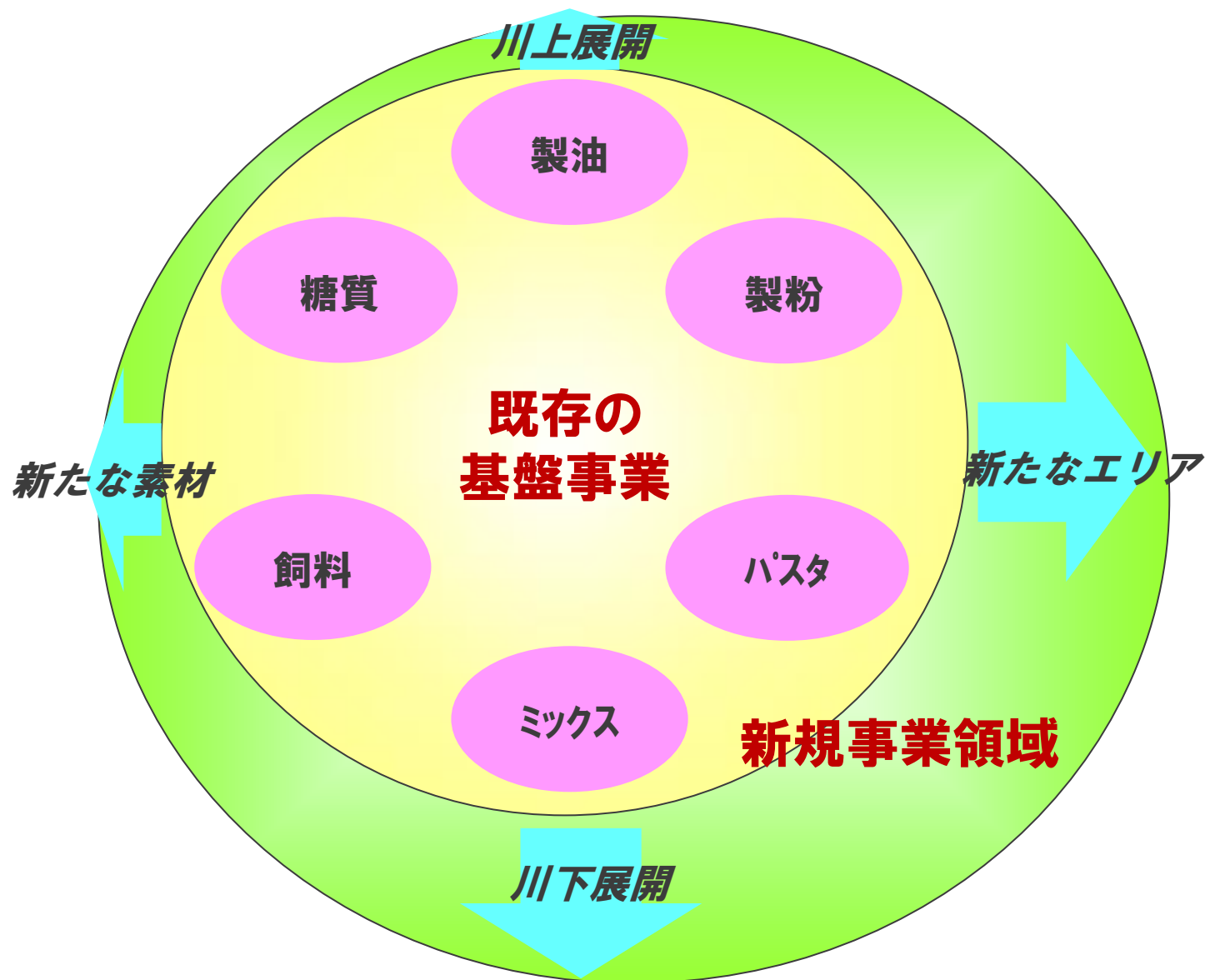
2025年度
(125期)

前中計の
成果と課題
を総括

穀物ソリューション・カンパニー ネクストステージへ



事業領域の拡大(イメージ)



ありたい姿の実現に向けて

持続的成長 企業価値向上

シナジー

事業領域の拡大

PDCA

基盤事業の強化

ロゴの変更について

従来のロゴ

日本をおいしくする

SHOWA

ロゴの変更について

〔昭和産業ロゴ〕

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業

〔ロゴに込めた想い〕

「おいしさ」「大地のめぐみ」
「笑顔」を食卓にお届けする
会社

穀物を通して様々な問題を解
決(ソリューション)し、社会と
お客様に貢献する会社

どの企業とも似通っていない
独自の企業DNA(風土)を
持った会社

大地、4つの穀物、グループの結束する姿をモチーフに
企業が広く成長していく姿を表現

一体感、総合力、大地の恵みのフィールドを表現

ロゴの変更について

〔グループロゴ〕

穀物ソリューション・カンパニー



昭和産業グループ



穀物ソリューション・カンパニー

SHOWA

昭和産業

見通しに関する注意事項

本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことは控え下さい。

なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、昭和産業グループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。